

第1回荒川区健康増進計画策定委員会 主な意見一覧

1 日時

令和5年8月3日(水) 13時30分～15時00分

2 場所

荒川区役所4階 庁議室

3 主な意見

- ・ 子宮頸がんワクチンは積極的勧奨が控えられたことで接種率が低い。キャッチアップ接種も含めて充実が必要。地方自治体でも男子へのワクチン接種が始まっている。アメリカは男女問わず接種だが、将来的に男性がんのトップ3にHPVによる中咽頭がんが入るとされている。男子への実施について検討が必要。
- ・ がん検診の受診率向上は、エビデンスがある手段が出ている。費用軽減、休日可、アクセス、手紙や電話の勧奨、教育活動などが良い。国立がん研究センターによる希望の虹プロジェクトを活用するのも良い。
- ・ 35～39歳の胃がんバリウム検診について、日本の推奨は40歳以上で、過剰診断や疑陽性・偽陰性の問題があり、改めて検討が必要。
- ・ 子どもや大人に対するがん教育は、ヘルスリテラシーの向上が一番重要。ヘルスリテラシーが低い大人にアクセスするのは難しく、子どものうちからの教育が重要。熊谷市で、子どものがん教育で大人のがん検診受診率が上がったという報告もある。
- ・ あらかわ満点メニューは、30代までの認知度が2割減少しており、具体的な充実方法が気になる。30-40代を対象とした店が少なく感じるので、子育て世代の行くお店、例えばチェーン店等を対象にできると良い。あと、もう少し味にもこだわると良い。
- ・ 座位行動を減らす普及啓発について、高齢の方も含めて具体的な例を示すと良い。
- ・ 『12歳の平均う歯数』は評価Aで、『60歳で自分の歯を24歯以上有する人の割合』が評価C。12歳から60歳までに歯が失われており、この年齢層で対策が必要。歯の健診事業は小学校、中学校までで、そこから先、区切りの20歳とかでの健診を考えていけると良い。
- ・ データをみると、運動習慣のある方の割合が高いが、肥満が多い。運動習慣の割合が良いという強みを生かし、取り組んでほしい。
- ・ スクリーンタイムは、こころの健康に入っているが、世界中で近視化が問題で、国も近視の実態調査をやっている。

第2回荒川区健康増進計画策定委員会 主な意見一覧

1 日時

令和5年10月27日(金) 13時30分～14時30分

2 場所

荒川区役所北庁舎3階 荒川区自治総合研究所応接室

3 主な意見

(1) 素案について

<喫煙>

- ・ 健康増進法の改正で分煙が進んでいるが、職域での分煙はグレーゾーンなケースが多く、禁煙のサポートだけでなく、飲食店以外も分煙が進むサポートが出来ると良い。

<成人歯科健康診査>

- ・ 歯周病と生活習慣病は密接な関係があり、それぞれでデータを取り、「30,35健診」とリンクできると区民の実態が分かって面白い。
- ・ 歯科健診は受診率が低く、健診受診のインセンティブ等の興味を引く方法を検討してほしい。

<30,35健診>

- ・ 「30,35健診」の目的について、単なる特定健診の延長ではなく、生活習慣病にかからないための30代からの生活指導に繋がるよう再整理が望ましい。問診票もその目的に沿った項目が必要。

<健康ポイント>

- ・ 健康ポイントは使い勝手の良いポイント利用が出来ると良い。急ぎ過ぎず、研究のうえ導入をお願いしたい。
- ・ ポイントは歩くだけでなく、色々なメニューで付与されるとより良い。焦らず研究してほしい。

<周知>

- ・ 色々な施策の周知に際しては、パソコンやスマホが使えず、新聞も取っていない高齢者等にも配慮した周知方法を検討してほしい。
- ・ 新聞は取らない方もいるため、難しいとは思いますが、電気・ガス・水道といった生活に不可欠な分野と連携して健康情報を発信できると面白い。

(2) その他

- ・ パブリックコメントは、実施にあたりホームページに掲載する際は章単位でPDFをアップロードするなど、意見を出しやすい工夫が望ましい。